

# 岸田てつはる 区政報告

発行所：自民党大田区民連合  
(政務調査係)

住所：大田区蒲田5-13-14

電話：03-5744-1480

令和二年第一回大田区議会定例会が、二月十七日から三月二十五日まで  
の日程で開催され、区の教育政策について質問をいたしました。

文部科学省が毎年発行している科学技術白書の平成三十年版版にお  
いて、昨今、日本の科学研究の実力が著しく低下していると警鐘が鳴ら  
されました。

現在、自動車の自動運転や先端医療の分野をはじめ様々な分野で人  
工知能(AI)の活用が広がりをみせており、専門知識を持つ人材の需  
要が高まっています。しかし、日本では他国に比べてトップクラスの実力  
を持った人材が不足しており、その状況を改善するため、国は「総合イ  
ノベーション戦略2019」で科学技術人材の育成を打ち出しています。

そして、この4月からは、全国の小学校において、論理的な思考を育  
成するべくプログラミング学習が必修科目となります。基礎的な能力・  
学力と旧来から言われてきた「読み・書き・そろばん(計算)」に、今  
後はプログラミングが加わると言われています。

今回の区政報告では、区のプログラミング学習の取り組み状況、文部  
科学省教育課程特例校として先行して科学学習に注力してきた清水窪  
小学校での成果を、今後どのように全ての小中学校へ広げていくのか等  
を区に質問いたしましたので、ここに報告いたします。



自民党大田区民連合  
岸田 てつはる 議員

## 令和二年 第一回定例会で質問した これからの区内小中学校の教育について

岸田：この4月、令和2年度からプログラミング教育が開始されますが、区の取組みはどのようになっているのか？教員の準備はどのようになっているのか？

区担当：教育委員会では、プログラミング教育の確実な実施に向けて、今年度各小学校に対して、児童用タブレット型パソコンを40台増配備いたしました。今年度は、主に理科の学習で活用することができるプログラミング教材を各小学校に配備するなど、多くの児童が直接パソコンに触れ、プログラミング的思考を学ぶことができる環境整備に努めてまいります。また、プログラミング学習に関する授業公開の研究報告会で、豊富な実践に触れ、さらに各校に訪問する「ICT支援員」によるプログラミング教育の研修を実施し、教員が具体的な授業実践の方法について学ぶ支援体制を強化しております。このような取り組みを通して、教員が小学校のプログラミング教育を円滑に実施できる体制が整った状況であると認識しております。

岸田：清水窪小学校で取り組んでいる研究の成果を大田区全学校に広げるべきと思いますが、区は清水窪小学校の成果をどのようにお考えなのか？大田区の各学校にどのように広げる考えなのか？

区担当：清水窪小学校では、理科や科学に対する興味・感心が高まっただけでなく、理論的思考や考えを広げて深めるために積極的に話し合う姿が見られる児童が増えました。このような成果を広げるために、理科教育推進拠点校3校に新たに小学校理科教育指導員を配置します。小学校理科教育指導員は、理科教育推進拠点校の校内研究の支援や、大学、ものづくり事業所等での体験などのコーディネート等を行います。また、近隣の小学校を訪問し、理科の授業力向上のため教員への指導・支援、理科の教材開発や理科室の安全指導、理科支援員の活用について確認を行います。このような取り組みを通して、各校に清水窪小学校の成果を広げてまいります。

岸田：理科教育推進拠点校3校と清水窪小学校はどのように違うのか、また同じ授業内容なのか？清水窪小学校は東京工業大学と連携を行っておりますが、清水窪小学校以外の大田区の小学校と東京工業大学のような教育機関や企業との連携はどのようになっているのか、区はどのように働きかけているのか？

区担当：今年度設置した理科教育推進拠点校3校につきましては、大田区教育研究推進校を兼ねて理科教育を中心に校内において研究を深めてまいります。清水窪小学校との違いは、特別な教育課程は実施せず、現行の理科の授業を通して理論的・科学的な思考力を育成してまいります。理科教育推進拠点校では、新たにものづくり町工場や企業、近隣大学等と連携し、児童による事業所等の訪問見学や、学校へ事業所等がゲストティーチャーとして先端科学技術についての講話や科学についての興味・関心を高める学習を行うなど、拠点校ごとに地域の特色を活かして、科学的な内容を体系的に取り入れた学習計画を立て、実践に活かすことで理科教育の充実を図る予定です。教育委員会では、この取り組みを円滑に実施できるよう、大学や一般社団法人大田工業連合会、キャリア教育推進協議会CP21などの団体に協力要請してまいります。

岸田：清水窪小学校を卒業した生徒とそれ以外の小学校を卒業した生徒との、学習の進捗や理解度の差の解消をどのようにお考えなのか？小学校全校では、清水窪小学校での成果を取り入れていくことになるが、中学校ではどのように理科教育に力を入れるのか？

区担当：現在、中学校では、中学校理科教育指導員を配置し、観察・実験の支援や授業者への指導・助言を行い、理科担当教員の更なる指導力の向上を図り、区全体の理

科の授業の充実に取り組んでおります。来年度からは、中学校理科教育指導員を1名増員し、4名体制で、より一層理科教育を推進してまいります。また、小中合同連絡会を開催し、小・中学校の現状や課題等を話し合う機会を設け、小学校と中学校での指導内容の確認を行い、共通理解を図ることやお互いの授業改善に努め、児童・生徒の理科の学力向上を図ってまいります。

岸田：子ども科学教室講座の参加倍率が約1.6倍で、講座によっては、当選倍率が4倍を超える講座もあるようだが、参加できない子どもが出ないよう、来年度は更に定員と講座を増やしてはと思うが、いかがか。また、子ども科学教室を更に発展させて理科・科学全般を毎日学べる科学館を作ってはと思うが？

区担当：子ども科学教室の中でも、多くの保護者からの期待の声がある親子講座については、毎回応募倍率が高い実績があります。これらの状況を踏まえ、来年度は、親子講座を11講座16回に増やし充実してまいります。なお、議員お話の科学館については、近隣自治体の取り組み状況を確認し、区における効果を研究してまいります。

## 大田区中小企業融資あっせん制度 【新型コロナウイルス対策特別資金】について

世界的な新型コロナウイルス感染症の広がりにより、事業活動に影響を受けている大田区内の中小企業・小規模事業者の方々を支援するため、大田区が全額利子補給する「新型コロナウイルス対策特別資金」が3月9日から緊急で新設されました。

■申込受付：2020年3月9日(月)～同年6月1日(月)まで ※土日祝日を除く

■対象者：大田区中小企業融資あっせん制度の基本要件のほか、次のいずれかに該当すること

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、直近(※)1か月の売上高が前年同期比で5%以上減少していること ※「直近」とは、申込月を基準に「前月」又は「前々月」を指します
- (2) セーフティネット保証4号(新型コロナウイルス感染症)の認定を受けていること

■資金使途：運転資金

■融資限度額：500万円(限度額内であれば、何度でも申し込み可)

■返済期間：36か月以内(元金据置6か月以内を含む)

■利率：名目利率1.5%以下

区が全額利子補給 本人負担率0%(なし)

- 必要書類：(1)「売上高比較表(新型コロナウイルス対策資金用)」又はセーフティネット保証4号(新型コロナウイルス感染症)の「認定書」  
(2) 売上高比較表の根拠が確認できる月次試算表、売上帳簿等  
※セーフティネット保証4号認定書の場合は不要  
(3) 通常の融資あっせん申込みに必要な書類一式

■その他：本制度は、区が直接融資するものではなく、融資実行の可否及び融資額については、金融機関等の審査によります。

■相談・受付窓口：

大田区 産業経済部 産業振興課 融資係 大田区産業プラザPiO 2F

TEL：03-3733-6185 FAX：03-3733-6159

受付日時：月曜日～金曜日(祝日を除く) 8:30～17:00

区議会へ区民の皆さんの声を届けます。

皆様のご意見やご要望をお待ちしております。

自民党大田区民連合 TEL：03-5744-1480